

医学概論

[講義] 第1学年 前期 必修 1単位

《担当者名》 幸村 近 吉田 繁 田中真樹 近藤 啓

【概要】

医学、医療に携わる幅広い職種のプロフェッショナルが共有すべき知識を包括的に学ぶことを目標とする。現代医学の特徴、医療の学際性、本学が有する各学部の領域を含む現状の医療システム、その中で臨床検査学が果たす役割を学習する。さらに医学医療の辿ってきた歴史を踏まえ、現代社会における医療倫理や先端医療技術への発達、さらに未来に向けての課題や展望を考察する。

【学修目標】

- 1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけるために、現代社会における医療倫理、先端医療技術について学ぶ。
- 2) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療を実践するための専門性と協調性を身につけるために、各医療関係職種の業務の内容と多職種連携の実際を知る。
- 3) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題の発見と、解決に向けた科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけるために、医学、医療全体の歴史を知り、あわせて将来的展望を考察する。
- 4) 日本の医療の現状について理解し、医療の将来動向を概説できる。
- 5) 医療における臨床検査の役割について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医学・医療とは何か 基礎概念と歴史的発展	<ul style="list-style-type: none"> ・医学・医療の定義と歴史的役割 ・医療の発展史（古代～中世～近代～現代） ・疾病観の変遷と医療技術の進歩 ・現代医療を支える科学的根拠とチーム医療の萌芽 キーワード：医学医療史 教科書：第1章-1・2	幸村 近
2	日本の医療制度と医療経済 社会の中の医療を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・医療提供体制（一次・二次・三次医療） ・国民皆保険制度の仕組み ・医療政策の現状（地域医療構想、医療計画、高齢社会への対応） ・医療費の構造と財政的課題 ・持続可能な医療を考える視点 教科書：第1章-1～7	幸村 近
3	患者中心の医療と医療倫理 医療者の基本姿勢を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・患者中心の医療の概念 ・患者の意思決定支援とインフォームド・コンセント ・医療倫理の4原則（自律、善行、無危害、正義） ・プライバシーの保護と医療者-患者関係 ・多職種連携における倫理的課題 教科書：第4章-1～5	幸村 近
4	救急医療と災害医療 危機に強い医療体制を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療システム（一次～三次救急） ・救命救急センターの役割 ・災害医療の基本概念（CSCATTT、トリアージ、DMAT） ・災害拠点病院と受援計画 ・災害時の臨床検査部門の役割（大量検体、迅速審査、フィールド検査） ・平時と有事の医療の違い 教科書：第1章-8・9	幸村 近
5	医療提供体制と多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の医療提供体制における多職種連携の必要性を概説し、医療が専門職の協働で成り立つことを理解する。 ・北海道医療大学の6学部（薬学・歯学・看護福祉・心理科学・リハビリテーション・医療技術）が担う医療領域を、診療・ケア・支援・地域連携の視点から理解する。 教科書：第1章-6	田中真樹

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
6	検査技術の歴史と将来の展望	・検査技術の発展の歴史 ・検体検査・生理検査・画像診断の高度化と連携 ・精度管理と標準化の重要性 ・医療DX、AI解析の進展 ・多オミクス解析・ゲノム医療など新領域の拡大 ・自動化時代に求められる検査技師の判断力・データ解析力・新たな役割 教科書：第2章-2、第3章-6	吉田 繁
7	医療における臨床検査 1	・医学・医療における臨床検査の役割について考える (グループワーク) 教科書：第4章-2	幸村 近、近藤 啓
8	医療における臨床検査 2	・医学・医療における臨床検査の役割について考える (グループワーク) 教科書：第4章-2	幸村 近、近藤 啓

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

- ・定期テスト(筆記試験)、小テスト 70%
- ・グループワークプロダクト 30%(グループワークで作成したプロダクトを提出する)

【教科書】

柳澤 信夫 著 「現代医学概論 第3版」医歯薬出版 2023年
指定の教科書に加え、必要に応じて学習プリントを配布する。

【参考書】

小橋 元 他 編集 「学生のための医療概論 第4版」 医学書院 2020年
北村 諭 著 「医学概論(コメディカルのための専門基礎分野テキスト)改訂7版」 中外医学社 2020年
小幡 豊 著 「医学・医療概説 医学部進学のための特別講座(河合塾シリーズ)改訂版」河合出版 2015年
中島 泉 著 「医学概論 医学のコンセプトと医療のエッセンス」 南江堂 2015年

【備考】

講義の開講順は、変更する場合がある。変更内容や講義日程は、ガイダンス時または掲示等にて発表する。
一部クリッカーを使用し、学生の理解度を把握する。
一部Google Formを利用して学修課題を提示する。
アクティブ・ラーニングとして第7~8回にはパソコンを利用したグループワークを行う。

【学修の準備】

予習：教科書の関連する部分をあらかじめ読んでおくこと。または、記載されたキーワードについて調べておくこと。(40分)
復習(評価方法にも記載)：授業の内容と感想コメントをレポートにまとめる。または小テストに回答する(120分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
(DP3) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。
(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

幸村 近(医師)、吉田 繁(臨床検査技師)、田中真樹(歯科医師)、近藤 啓(臨床検査技師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、医学・医療における各専門領域の重要性や具体的な実践について講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している